

○議長（吉田敏郎）

日程第6 議案第53号 工事請負契約の締結について（開成町防災行政無線デジタル化整備工事）を議題とします。

提案理由を町長に求めます。

町長。

○町長（府川裕一）

提案理由、令和元年度開成町防災行政無線デジタル化整備工事の工事請負契約を締結したいので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、提案をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（吉田敏郎）

細部説明を担当課長に求めます。

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

では、議案を朗読させていただきます。

議案第53号 工事請負契約の締結について。

令和元年度開成町防災行政無線デジタル化整備工事について。

次のとおり請負契約を締結する。

1、契約の目的、令和元年度開成町防災行政無線デジタル化整備工事。

2、契約の方法、条件付き一般競争入札。

3、契約金額、一金3億668万円、うち取引に係る消費税額及び地方消費税額2千788万円。

4、契約の相手方、神奈川県川崎市高津区末長3-3-17、株式会社富士通ゼネラル情報ネットワーク営業部長、新田洋司。

5、工期、議会議決の日から令和2年11月30日まで。

令和元年11月5日提出、開成町長、府川裕一。

1枚おめぐりください。事業概要書となっております。事業名につきましては、記載のとおりでございます。工事場所については、町内全域となっておりますが、これについては屋外区画がございまして、町内各所に設置してございますので、これらの整備を行うためとなっております。契約工期につきましては、令和2年11月30日としてございます。これは国内の同報系子局を順次更新するためのものでございまして、主要な機器につきましては、新庁舎の開庁に合わせて整備を進めてまいります。

工事の概要といたしましては、新庁舎の防災行政無線室内、隣接します災害対策会議室に設置する無線の基地局、操作卓、各種モニター等でございます。

屋外では、同報系の子局の建てかえや新設を行ってまいります。また、無線機型の移動型では、デジタル移動系の装置、また、デジタル簡易無線機装置を整備しまして、自治会等のスムーズな通信手段を確保してまいります。

3ページを御覧ください。入札の結果でございます。本工事につきましては、9月

25日に一般競争入札で入札公告を行いまして、10月23日、開札をした結果となつてございます。予定価格が3億624万円のところ、株式会社富士通ゼネラルが2億7千88万円で落札をしたものとなつてございます、2億7千880万円でございます。

説明は以上でございます。御審議のほど、よろしくお願ひいたします。

○議長（吉田敏郎）

説明は終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

武井です。防災無線のデジタル化、大いに賛成なのですが、アナログ防災無線のときに、町内でいろいろなところで、大雨の時に聞こえないという話をたくさん聞いております。これはデジタル化をすることによって、聞こえないと言っていたところが、聞こえるようになるのでしょうか。それから、聞こえるようになるのであれば、その根拠は何でしょうか。お願いします。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

お答えしたいと思います。アナログがデジタルになるから、聞こえるかというところでございますけれども、今回につきましては、屋外子局ですね。こちらについて、町内全域を調査をしてございます。それに伴いまして、やはり聞こえない部分については新設を行うこととなつてございます。全部が聞こえるかどうかというお話でございますけれども、やはり大雨ですとか、そういったところはなかなか聞こえませんので、町民の皆さんに、今、ハザードマップの説明等を行っていますが、そういう時には、できるだけ窓を開けるなどして、お聞きしてくださいということでお話をしている部分もございます。また、どうしても聞こえない場合には、テレホンサービス等、そういったものも御用意していますので、そちらも今後、こちらはあわせて拡充をしていこうとしていまして、いろいろ多岐にわたる機器を駆使してといたしますか、そういう形で、皆さんには情報をお届けしたいというふうに考えているところでございます。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

武井です。そうしますと、これはアナログからデジタルに変えたからといって、今まで聞こえていなかったところが、聞こえているようになるとは、決して言えないということではよろしいのですか。その分、多岐にわたる、いろいろな電話だとか、それから、スマホへの配信だとかを通じて、何か情報を届けるようになるので、防災行政無線に関しては、デジタル化になつても、さほど改善されないかもしれないと捉えていいのでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

お答えしたいと思います。まず、ここでデジタルにする部分につきましては、まず、国のほうで、平成で言いますと34年に、もう使えなくなるというところがございます。もう一点が、あと新庁舎建設でございますので、国のほうで進めているデジタル化にするというものでございます。というところで、全く進歩がないかというところではございませんで、できるだけ皆さんに、なかなか言葉では難しいのですけれども、そういった部分も含めて、もう一回調査、町内についても全部調査をさせていただきますので、それについて、スピーカーをかえたり、より一層皆さんに伝える方向で整備をしていくところでございます。

あと、デジタル化になることによりまして、皆さんへの情報ですけれども、今まで一つ一つ、例えば、ホームページですとか、防災無線、一つ一つ操作をしていたのですが、今度はそういったものが、テキストの発信というのがございまして、それを一つやることによって、一遍に情報が、ホームページですとか、いろいろな媒体に情報が送れるような形になりますので、そういった意味では、拡充というところでございますので、また、音声も、今までは肉声でやってございましたが、そういったものもデジタル化で、音声合成というところで、機械による発声ができますので、そういった意味では聞き取りやすい放送が、よりお届けすることができるというふうに考えてございます。

○議長（吉田敏郎）

3番、武井議員。

○3番（武井正広）

三度目になりますので、最後に確認ですが、防災行政無線の当然、いろいろなところに鉄塔が建って、そこからスピーカーで話をされていると思うのですが、例えば、鉄塔が増えるわけではまずないということと、それから、スピーカー自体は改善されるから、聞こえやすくなる。別にスピーカーが増えるとか、そういう話ではないということなのですか。その辺の最後、確認をさせていただきます。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

お答えしたいと思います。スピーカーについては、子局ですね。電柱型もございませけれども、それについては、昨年度、調査を行ったところ、4カ所増やすということになってございます。スピーカーにつきましても、今まで同じようなスピーカーを全部使っていたのですが、そこの聞きにくい場所については、より出力の高いものとか、そういったところで全部検討してさせていただきますので、総合的に聞こえにくいところは解消するというところで、設計等はしてございます。

○議長（吉田敏郎）

ほかに。

11番、前田議員。

○11番（前田せつよ）

11番、前田せつよでございます。今と同僚議員の関連質問をさせていただきたいと思っております。課長答弁で、テレフォンサービスの装置につきましても拡充ができるということでお話があったわけですが、今までテレフォンサービスを町民が使うと、なかなかつながらなかったりとかというような状況もあったようでございます。この辺がどのように拡充されるのかということと。

あとデジタル同報系屋外拡声子局設備の項目について、先ほどの答弁では、町の現況を調査して、この数字に至ったと、上から26台、26基、68個、13個という数字が出ておりますが、現況、この数字に示した形で、現況からどの項目が幾つ増えたのかということと、その増えた理由もあわせて御答弁願いたいと存じます。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

お答えしたいと思います。まず、テレフォンサービスでございますけれども、こちらはなかなか通じないというところは、御意見いただいてございます。現在としましては、そちらの回線数が2回線に対応している部分がございます。そちらを今度につきましましては、新しいほうでは、より一層、皆様のほうへできるような形というところでございます。ちょっと数を確認いたしますけれども、10回線ほどには増やしていきたいというふうに考えているところでございます。

もう一つの、屋外子局のほうでございます。こちらが1ページの資料にございますところでありまして、26台というところでございます。現在はこちらが22台でございますので、本数としては4台増やしてまいります。

スピーカーについては、その場所によって、通常、4方向、1台については4台ついてございますけれども、そちらについては、場所によっては、ほかとふくそうしてしまいますので、3台というようなところもございますので、基本的には4台ではございますけれども、スピーカーの台数も、ふくそう等、要は隣と響いてしまって、そういったのも計算して、台数については調整をしている状態でございますので、こちらは増えたかどうかという内容よりも、より聞き取りやすい配置を考えておりまして、先ほど言いました、一緒くたのスピーカーではなくて、こういった種類を分けまして、より遠くへ飛ばすようなものですとか、そういったところで、全体をカバーしていこうというところで工事のほうを予定しているところでございます。

○議長（吉田敏郎）

11番、前田議員。

○11番（前田せつよ）

11番、前田せつよです。それでは確認でございますが、この四つの装置並びにスピーカー等につきましましては、事業概要の拡声子局装置については、現況22台をプラ

ス4台増やして26台として、残りのこの三つの品に関しては、数値的には変わらないと。そのかわり性能的にしっかりと加えられた形で、また加味した形で設置に当たるという解釈でよろしいのでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

お答えしたいと思います。電柱型のものについては、22台を26台に増やすというところがございます。スピーカーの数については、一概に増やすかどうかということはあるのですけれども、その場所によって、ふくそうしてしまう部分もございますので、そういったところを考慮しながら、より聞きにくいところについては、遠くまで届くようなものというところで、計算をした上で設置のほう、図っていくものでございます。

○議長（吉田敏郎）

前田議員、もういいですか。

11番、前田議員。

○11番（前田せつよ）

11番、前田せつよです。数字的なものの視点から質問をさせていただいた私の質問としては、数字的に22台、現況が26台になり、次の26基、68個、13個という、この数字につきましては、変わらないという解釈でよろしかったですね、ということでございます。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

申しわけございません。電柱型については4台増やしますので、それによって、当然、スピーカーも増えてございます。トータル的には、そういった現地の状況にもよりますので、判断した上では、スピーカーとしては増えている状況ではございますけれども、スピーカーは全部一新いたしました上で、状況によって、より遠くまで飛ぶものを採用したりということで、全体をカバーするものでございます。

○議長（吉田敏郎）

よろしいですか。ほかに。

5番、茅沼議員。

○5番（茅沼隆文）

茅沼です。アナログとデジタルの違いというのは、よく分かっていないので、こういう質問で確認させていただきたかったのだけれど、従前、松田の防災無線と混信するとか、南足柄の防災無線と混信するとか、そういった事例があったように思うけれども、今度、デジタル化したら、こういう混信はなくなるなということを確認したいのと。

ちょっと議案からは外れるかもしれませんが、また、以前、この本会議の幾つかで

話があったように記憶していますけれど、現在普及している防災ラジオをどうするのかという質問、今度、デジタル化で使えなくなるわけだから、新しくまた防災ラジオというのをあっせんするようなことを考えているのかどうか、もしくは先ほど来、説明があったような、いろいろな方法で防災情報を届けるということにするのかどうか、その辺の確認だけさせてください。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

御説明したいと思います。まず一つ目は、混線の部分でございます。こちらについては、電波局で電波を割り当てられてございまして、混信がありますのは、開成町、あとは小山町ですね。こちらが周波数が同じでしたり、あるいは場合によっては、大島のものも入るようなことも聞いているところでございます。それについても、こちらのほうへ申請等、事前の伺い等を立てている中では、そういったところがあるので、ぜひ、そこは解消してほしいということは、管理局のところに訴えているところでありまして、今後は、そういうところがないというところなのですけれども、小山町と開成町ですと、その管理区域が異なる部分がございますので、その辺も十分に調整をいただくようにはお願いをしているところでございます。

防災ラジオにつきましては、今度はデジタル化になるわけなのですけれども、今度はその基地局、操作卓のほうでは、アナログとデジタルと、両方とも電波が飛ばせるような機器を採用いたします。現在ある戸別受信機と防災ラジオについてはそのまま使えるというようなところで、そちらも事前相談ということでさせていただいております。

今後につきましては、また、防災ラジオを新たにというところがございますけれども、その部分については、先ほど申しました、いろいろな情報機器がございますので、どれが良いのかというところも踏まえながら、より一層皆様に情報が伝えられる手段というところで確認しながら、そういったところは、整備しながら、もう一度考えていければというところで思っております。

○議長（吉田敏郎）

茅沼議員、よろしいですか。

ほかに質疑ございますか。

（「なし」という者多数）

○議長（吉田敏郎）

ないようですので、続いて討論を行います。討論のある方いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○議長（吉田敏郎）

討論はないようですので、採決を行います。

議案第53号 工事請負契約の締結について、開成町防災行政無線デジタル化整備工事、原案に賛成の方の起立を求めます。

(起立全員)

○議長(吉田敏郎)

お座りください。起立全員によって、可決されました。